

ケープタウンの被供与団体との間で草の根・人間の安全保障無償資金協力(GGP)の契約書署名式を実施

令和6年3月8日ケープタウン領事事務所において、牛尾滋駐南アフリカ日本大使は、草の根・人間の安全保障無償資金協力(GGP)の実施の一環として、ケープタウンにある3つの被供与団体の代表者と無償資金協力契約を締結した。署名式参加団体およびプロジェクト概要は以下のとおり。

・団体名: タッチング・ネーションズ

プロジェクト: 西ケープ州社会的弱者のための移動診療所の供与(56,548米ドル)

・団体名: セント・ジョセフ・ホーム・フォー・クロニック・チルドレン

プロジェクト: 西ケープ州セント・ジョセフ・ホーム・フォー・クロニック・チルドレンへの専門聴覚機器の供与(18,808米ドル)

・団体名: タイガーバーク・ホスピタル・チルドレンズ・トラスト

プロジェクト: 西ケープ州タイガーバーク・ホスピタル・チルドレンズ・トラストへの医療機器提供(56,765米ドル)

日本政府から大使館を通じて提供される金額は、総額132,121米ドルとなる。

GGPは1989年に始まった日本の助成制度。草の根レベルで人々の幸福に直接影響を与える非営利団体を支援するプロジェクト。人間の基本的ニーズの改善を目指す分野や、人間の安全保障の観点から特に重要な分野において優先的に支援を実施している。創設以来、南アフリカでは600以上のプロジェクトが実施されてきた。

大使館は、この協力がケープタウンの人々の社会的・経済的福祉の実現につながることを期待している。



From left side

- Mrs. Louise Frieda Theron/Tygerberg Hospital Children's Trust
- Mr. Mrak Le Fleur/ Touching Nations
- Mrs. Christelle Cornelius/St Joseph's Home for Chronically Ill Children
- Ambassador Mr. USHIO Shigeru